



令和2年6月30日

# とべだより

7月号

横浜市立戸部小学校

たくましい戸部の子どもたちのために

学校長 保科 優子



6月1日、戸部小学校に元気な子どもたちの姿が戻ってきました。最初の2週間は、午前と午後に分かれての分散登校。教室にいるのは、いつもの半分の人数。隣の席には、友達が座っていません。これまで経験していた「当たり前」の学校とは違う学校でした。午後からの登校のときには、これまでの「当たり前」とは違う時間帯での生活になり、ご家庭も大変だったことと思います。そんな中でしたが、大きな混乱もなく子どもたちが元気に学校に戻ってきてくれたことは、ご家庭や地域の方の並々ならぬご協力があったからこそだと感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

6月3週目になって、午前授業ではありましたが、やっと通常登校での学校生活が始まりました。空席がほとんどない教室は、やっぱり安心します。これこそが、学校だと思いました。

学校はやっと始まりましたが、これまでとは違う様子が様々な場面で見られます。教室ではみんなマスクをしています。先生は、「教室に入る前には手を洗いなさい」と、何度も声をかけています。6月は、給食もありませんでしたし、もちろん行事もありませんでした。それでも、どこの教室にも子どもたちの笑顔があふれています。

1年生は、友達もできはじめ、学校生活にも少しずつ慣れてきたようです。学校探検も始まり、校長室にも探検に来てくれています。2年生は、1年生のお手本になろうと本当によく頑張っています。廊下の歩き方も上手になりました。そして、3年生以上はどの教室でも総合的な学習の時間を中心に、この一年で自分はどのような力を付けたいのか、そのためにどんなことが大切なのかを真剣に語り合っています。今年度も、どのような総合が繰り広げられるのか楽しみです。

子どもたちのたくましい姿、どんな状況の中でも明るく成長していこうとする姿には、学ばされることばかりです。何が正解なのかよく分からない現在の状況。それでもたくましく成長しようとしている子どもたちに我々大人も負けてはいられません。過去の常識や、これまでの「当たり前」に固執していると、大人のほうが前に進めなくなってしまいそうです。どのような状況下であろうとも、今できる最善を尽くしていかなくては、このたくましい戸部の子どもたちに申し訳ない。子どもたちの何事にも前向きに頑張ろうとする姿を見て、そんな気持ちになりました。

今後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止が求められる中で、子どもたちにとって最善の方法は何かを一つひとつ模索しながら進んでいくこととなります。これからも、保護者や地域の皆様と手を取り合って、戸部の子どもたちのために、頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。